

「議員、官僚、大企業、警察等の信頼感」調査 (調査結果の概要)

2025年12月
一般社団法人 中央調査社
CENTRAL RESEARCH SERVICES, INC.
東京都中央区銀座5-15-8
電話03-3549-3121

世論調査、市場調査の専門機関である一般社団法人 中央調査社（会長 境 克彦）は、「国会議員」「官僚」「裁判官」「マスコミ」「銀行」「大企業」「医療機関」「警察」「自衛隊」「教師」の信頼感に関する意識調査を実施しました。調査は、2025年10月3日から13日にかけて、無作為に選んだ全国の20歳以上の男女個人を対象に個別面接聴取法で行い、1,138人から回答を得ました。主な調査結果は以下のとおりです。

なお、この調査は、2000年3月、2001年12月、2004年5月、2007年7月、2008年8月、2009年12月、2012年5月、2015年9月、2017年10月、2019年10月、2021年11月、2023年10月にも実施しており、今回が13回目となります。

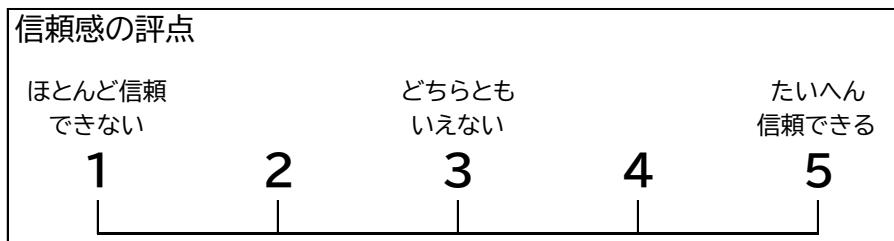
—「医療機関」、「自衛隊」への信頼感が最も高く、「国会議員」が最も低い—

—「信頼されるよう努力してほしい」のは「国会議員」が最多—

—「情報公開が進んでいないと思う」機関は「国会議員」「官僚」の順—

1. 信頼感

国会議員、官僚、裁判官、マスコミ、銀行、大企業、医療機関、警察、自衛隊、教師に対する信頼感を、「ほとんど信頼できない」の評点「1」から「たいへん信頼できる」の評点「5」の5段階で評価してもらった。



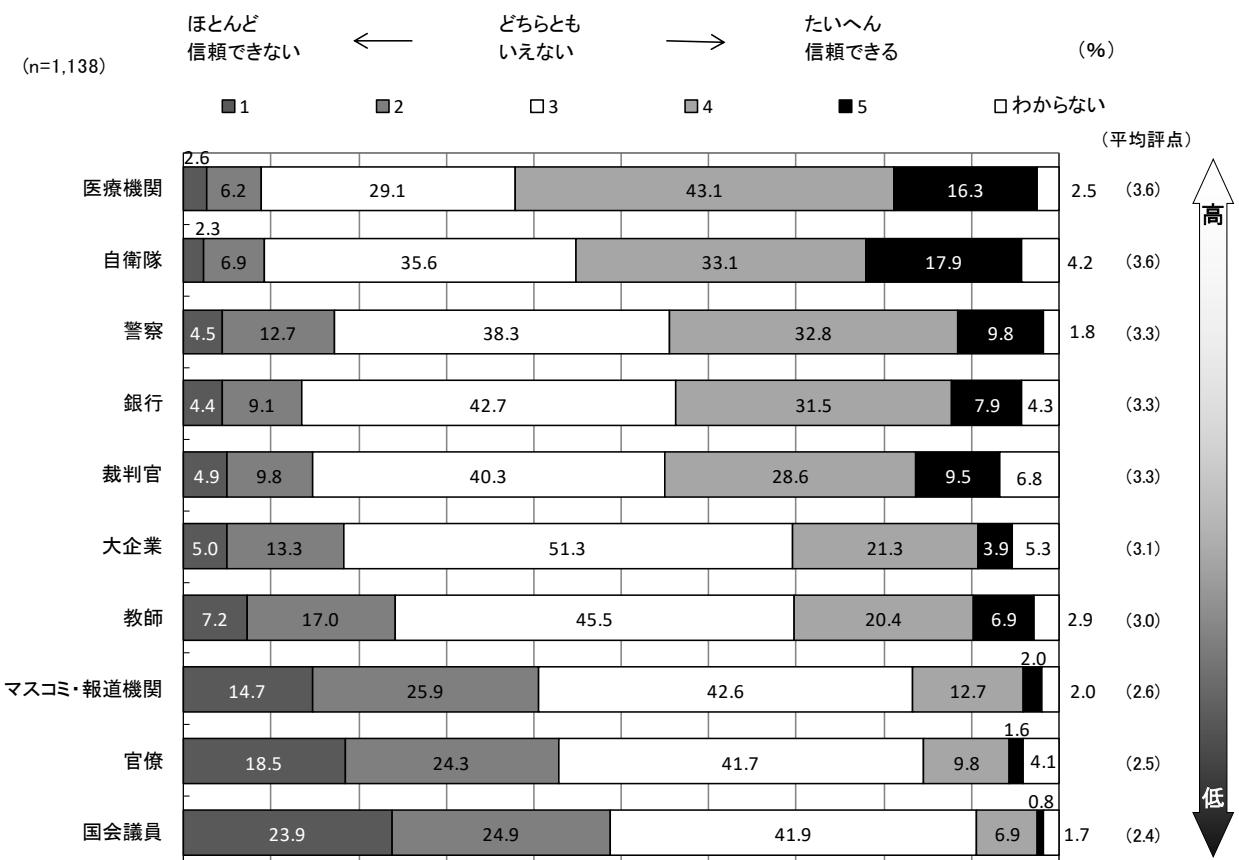
平均評点が最も高かったのは、医療機関と自衛隊（ともに3.6）である。医療機関は、前回調査から0.2ポイント低下したが、変わらず高い信頼感を得ている。自衛隊の評点は横ばいで、今回は評点を下げた医療機関に肩を並べた。次に警察、銀行、裁判官（ともに3.3）が続く。前回調査との比較だと、警察が0.2ポイント、銀行と裁判官はそれぞれ0.1ポイント低下した。その後は大企業(3.1)、教師(3.0)が続いている。大企業は横ばいだったが、教師は0.2ポイント低下した。

続くマスコミ・報道機関(2.6)は前回より0.2ポイント上昇、官僚(2.5)は横ばい、国会議員(2.4)は0.1ポイントの上昇だった。また、信頼できないとする「1」や「2」の評点をつけた割合は、マス

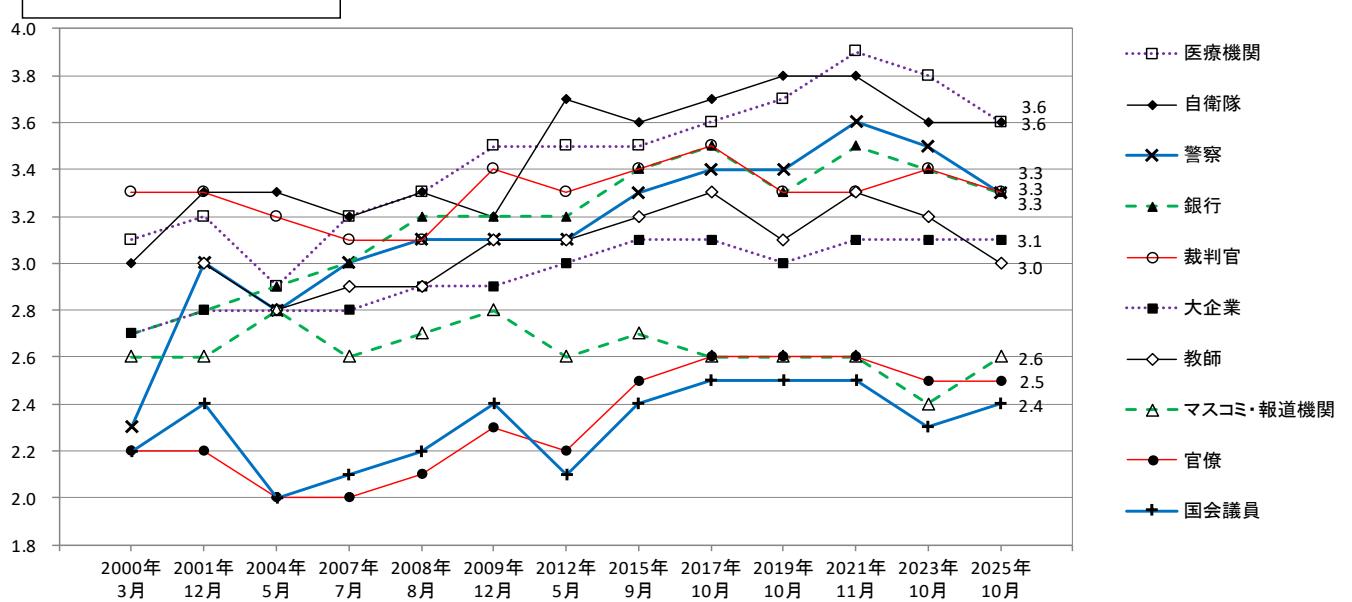
コミ・報道機関が40.6%、官僚が42.8%、国會議員が48.8%で、いずれも40%を超える高い数値となっている。

信頼感

問. ここにあげた日本の機関や団体などについて、あなたはどの程度信頼できると感じますか。
「たいへん信頼できる」を5、「ほとんど信頼できない」を1として、それぞれについて5段階で評価してください。



信頼感: 平均評点の推移



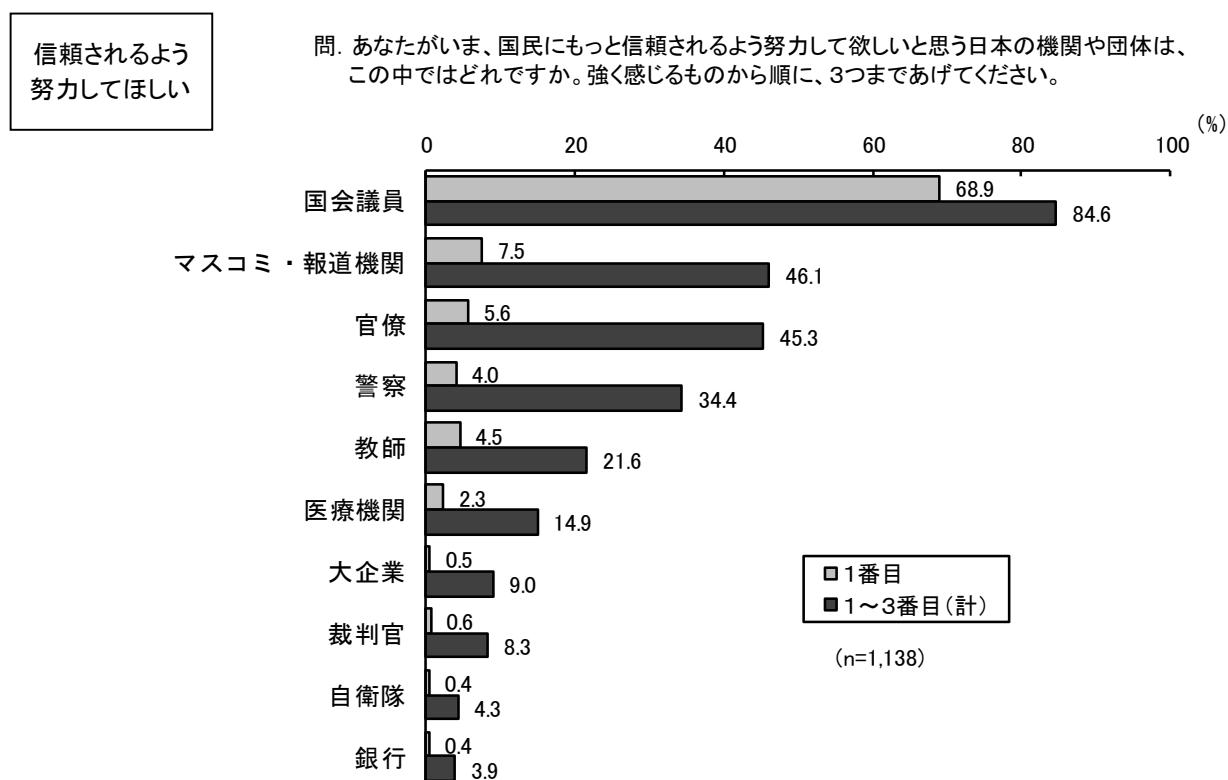
※「教師」は2001年12月調査から調査開始

2. 信頼されるよう努力してほしい機関・団体

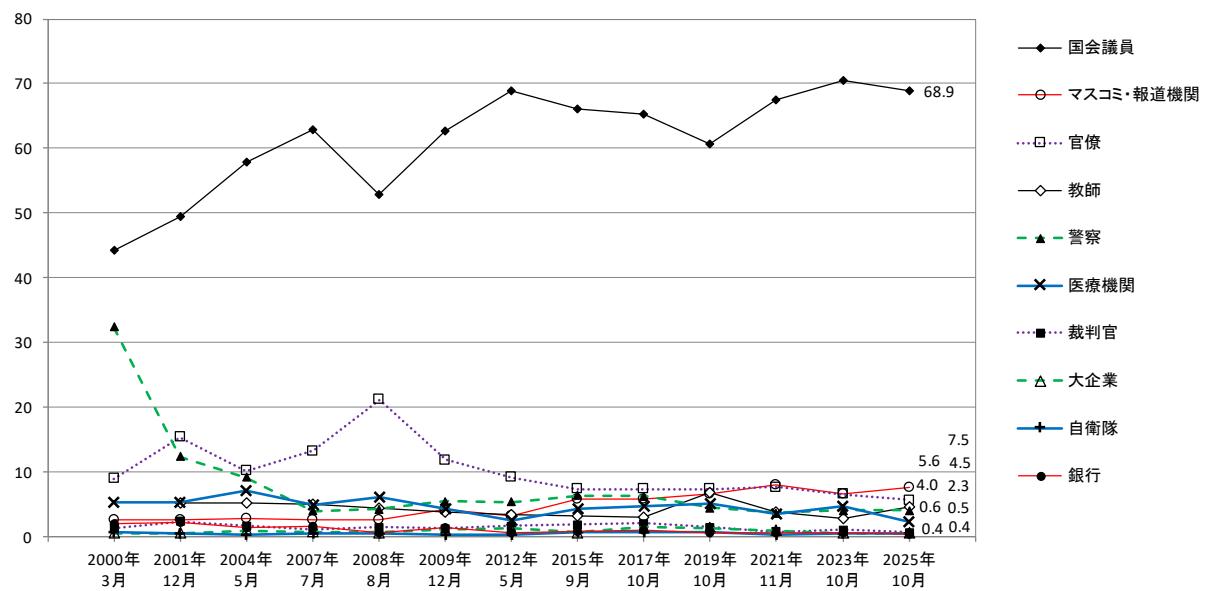
「国民に信頼されるよう努力してほしい」機関・団体については、国会議員を1番目に挙げた人が68.9%で最も多くなった。

3番目まで挙げてもらった合計も国会議員(84.6%)が最も多く、次いで、マスコミ・報道機関(46.1%)、官僚(45.3%)、警察(34.4%)、教師(21.6%)の順となっている。

時系列でみると、「国会議員」を1番目に挙げた人は、2009年から現在まで6割以上を維持しており、今回は前回(70.4%)から1.5ポイント減少したものの、1~3番目の合計でも2009年以降は8割以上を維持するなど、すべての項目の中で群を抜いている。

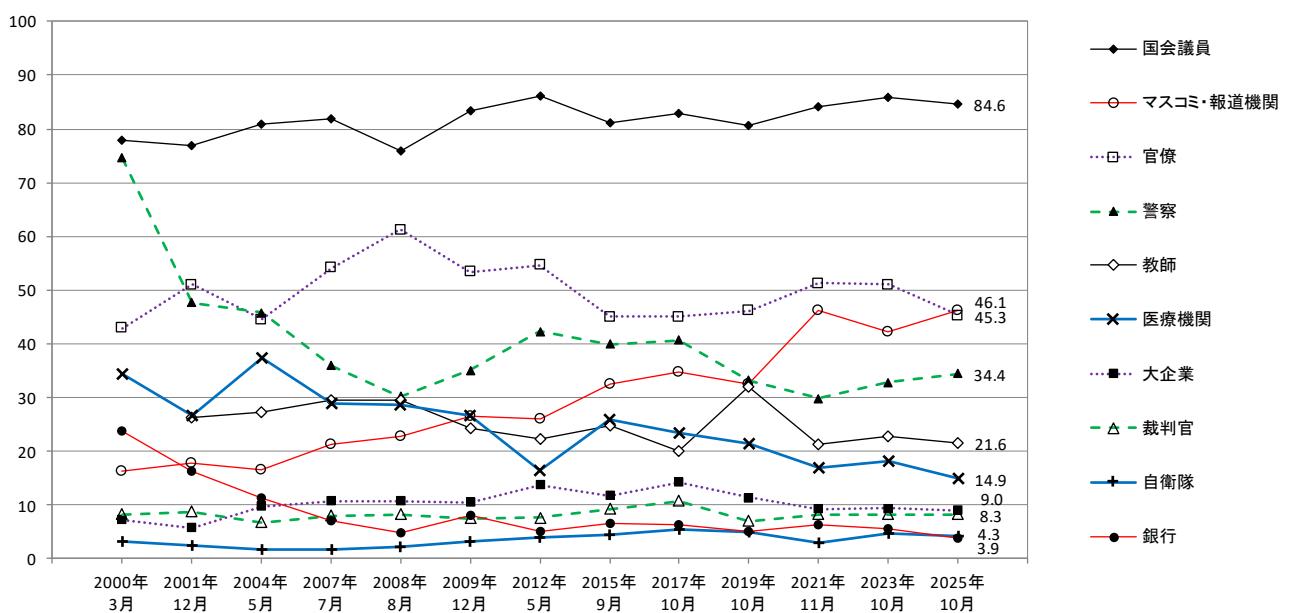


信頼されるよう努力してほしい: 1番目の推移(%)



※「教師」は2001年12月調査から調査開始

信頼されるよう努力してほしい: 1~3番目(計)の推移(%)



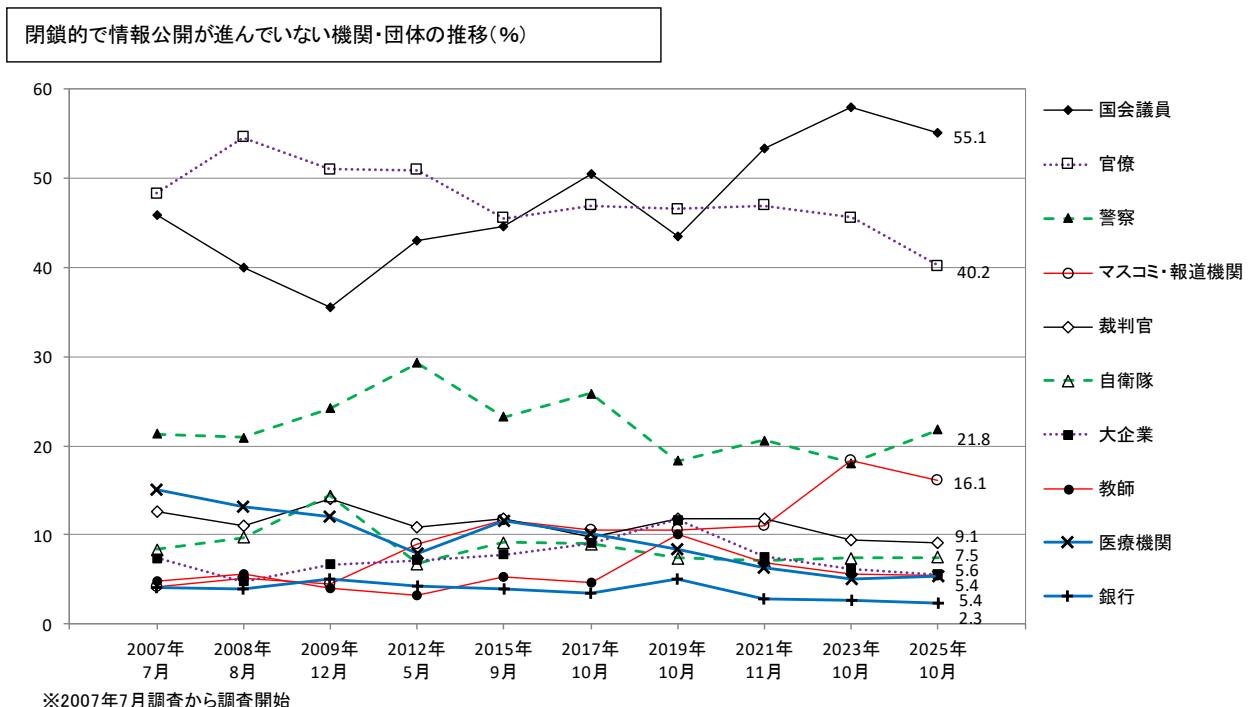
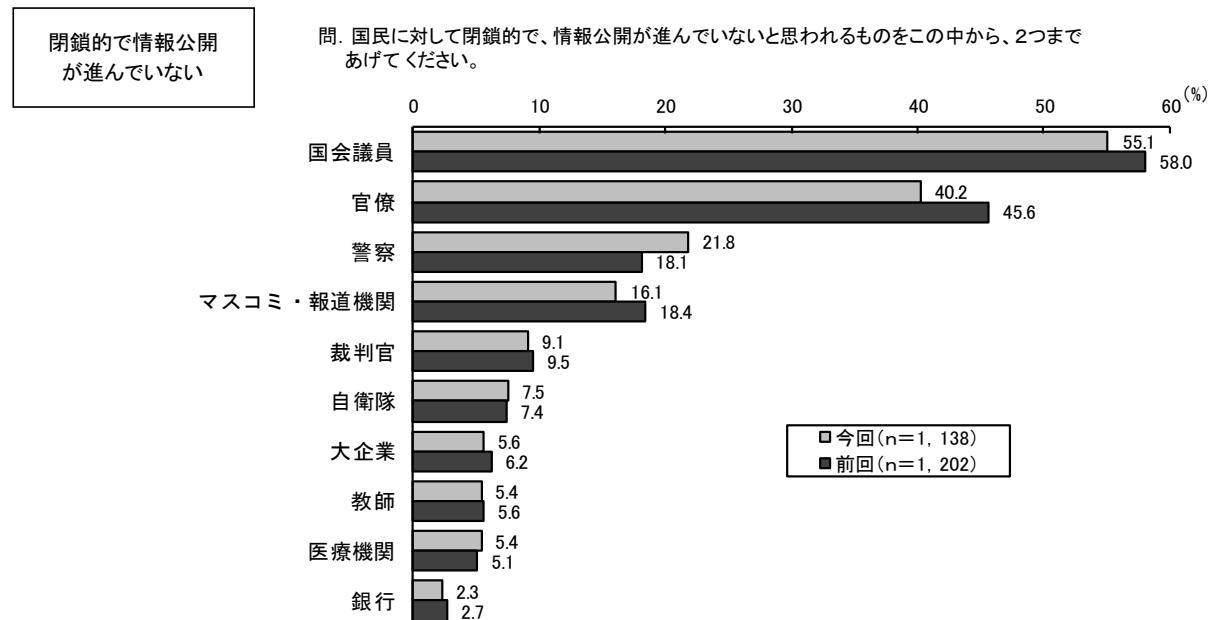
※「教師」は2001年12月調査から調査開始

3. 閉鎖的な機関・団体(国民に対する情報公開)

「国民に対して閉鎖的で、情報公開が進んでいないと思う」機関・団体を2つまであげてもらったところ、国会議員(55.1%)と答えた人が最も多く、官僚(40.2%)が2位となった。国会議員は前回(58.0%)から2.9ポイント、官僚(45.6%)は5.4ポイント、それぞれ低下したものの、依然として他を大きく上回っている。

今回は警察(21.8%)が3位となり、前回(18.1%)より3.7ポイント上昇した。前回3位だったマスコミ・報道機関(16.1%)は、前回(18.4%)より2.3ポイント低下し、今回順位は4位となった。

その後は、裁判官(9.1%)、自衛隊(7.5%)、大企業(5.6%)が続く。



4. 世論調査への信頼感

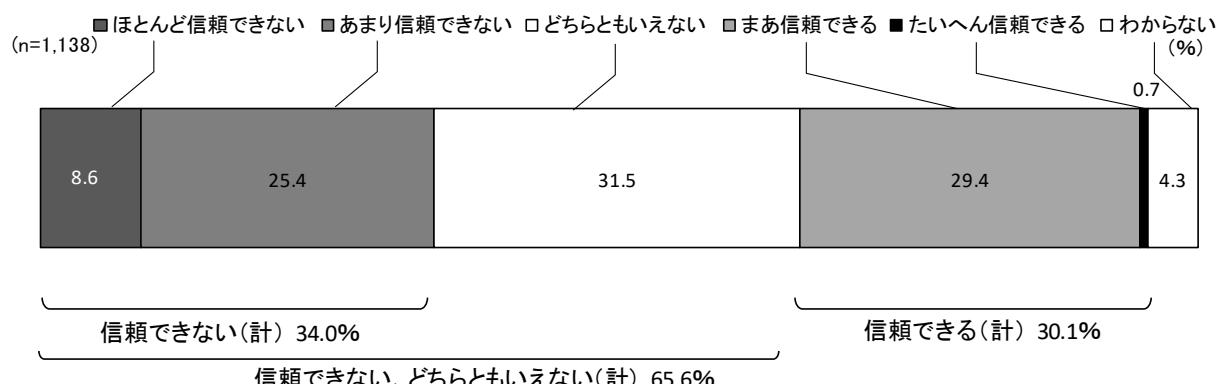
世論調査に対する信頼感について、今回新たに聞いた。「ほとんど信頼できない」から「たいへん信頼できる」の5段階で評価してもらった。

「ほとんど信頼できない」が8.6%、「あまり信頼できない」が25.4%で、『信頼できない(計)』は34.0%となった。一方、「まあ信頼できる」が29.4%、「大変信頼できる」が0.7%で、『信頼できる(計)』は30.1%となり、信頼できないと感じている人のほうが多いという結果になった。

また、『信頼できない(計)』と、「どちらともいえない」を合わせると65.6%¹となり、50%を超える。過半数の対象者が、世論調査を「信頼できる」とは回答しなかった、という結果になった。

世論調査の 信頼感

問. あなたは、新聞やテレビなどのメディアで報じられる世論調査をどの程度信頼できると感じますか。
この中から1つだけお答えください。



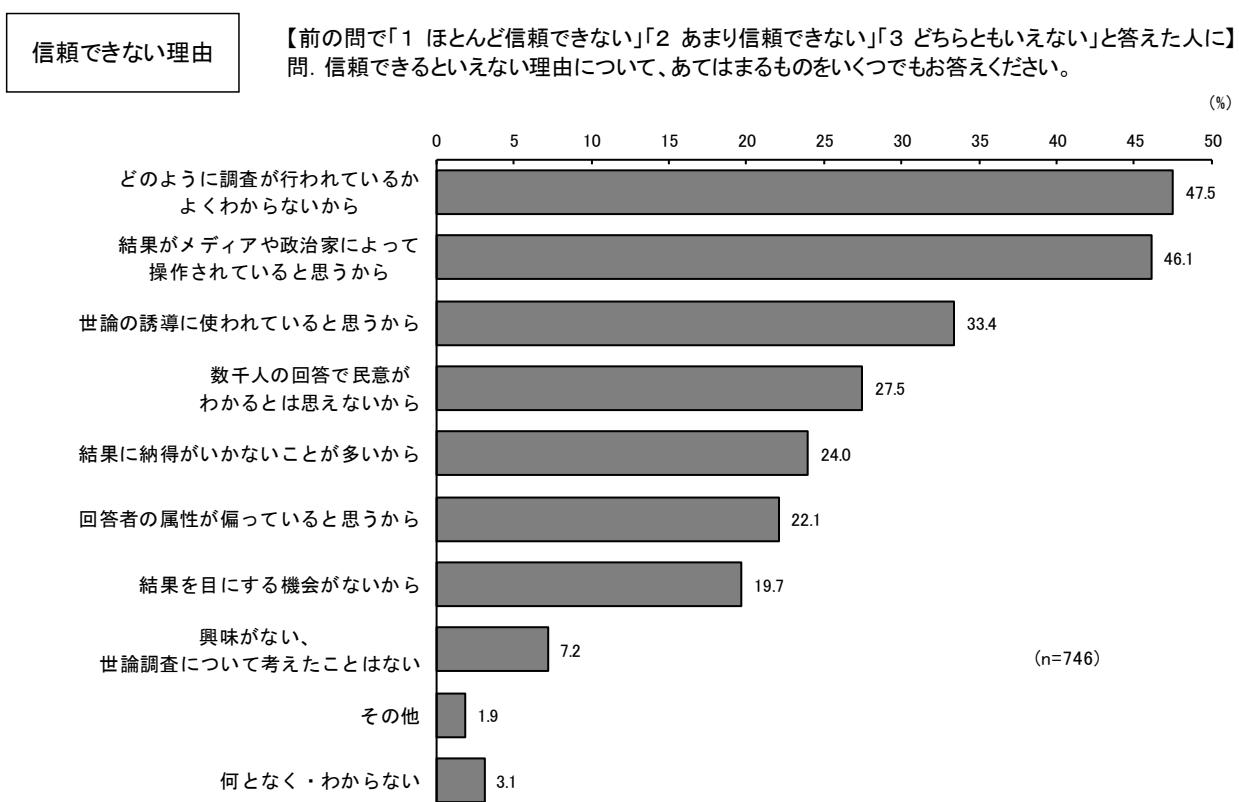
¹ 実数値から%を算出

5. 世論調査を信頼できない理由

世論調査を信頼できない理由も今回新たにたずねた。

最も多かったのは、「どのように調査が行われているかよくわからないから」で、47.5%だった。それに続いて、僅差で2位だったのが「結果がメディアや政治家によって操作されていると思うから」(46.1%)、3位が「世論の誘導に使われていると思うから」(33.4%)で、世論調査の恣意的な利用を疑う意見が上位に入った。

4位以下は「数千人の回答で民意がわかるとは思えないから」(27.5%)、「結果に納得がいかないことが多いから」(24.0%)、「回答者の属性が偏っていると思うから」(22.1%)、「結果を目にする機会がないから」(19.7%)、「興味がない、世論調査について考えたことはない」(7.2%)となつた。

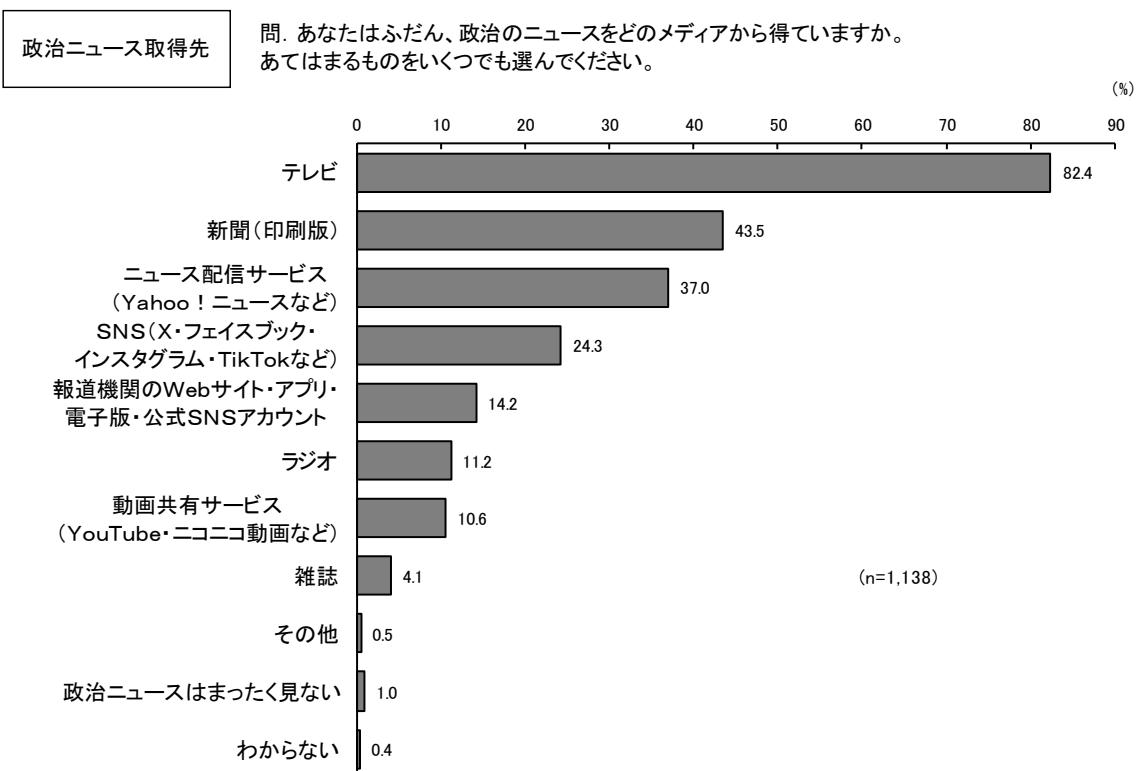


6. 政治ニュース取得先

政治ニュースをどの媒体から取得しているかについてたずねた。こちらも今回新たに追加した質問である。

顕著に高かったのが「テレビ」で、82.4%だった。続く「新聞（印刷版）」が43.5%だった。複数の報道機関からの情報を概観できる、「ニュース配信サービス（Yahoo!ニュースなど）」は37.0%だった。

4番目に多かったのがSNSで、24.3%だった。約4人に1人が政治のニュースをSNSでチェックしているという結果になった。「報道機関のWebサイト・アプリ・電子版・公式SNSアカウント」と回答した人は14.2%だった。「ラジオ」は11.2%、「動画共有サービス（YouTube・ニコニコ動画など）」は10.6%だった。



(調査の設計・方法など)

- (1) 調査地域 全国
- (2) 調査対象 満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 4,000
- (4) 抽出方法 層化三段抽出法
- (5) 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- (6) 調査時期 2025年10月3日～13日
- (7) 有効回収数 1,138

(問い合わせ先) 〒104-8179 東京都中央区銀座 5-15-8

一般社団法人 中央調査社 (担当 山岸)

TEL 03-3549-3121 FAX 03-3549-3126

ホームページ : <https://www.crs.or.jp>